

山口県 長門市 萩市 島根県 浜田市 研修
報告書 11巻 石井 脩 男

長門市 「本庁舎建設事業」の取り組みについて

日時 平成30年 11月14日(水) PM: 3:00~

出席者 大田 哲也氏 (国土総務部庁舎建設
準備室 室長)

宇野 英樹氏 (主査)

岡田 幸生氏 (議会事務局 次長)

長門市本庁舎建設事業概要

- 経緯
- 平成15年10月 耐震1次診断 震度5以上で倒壊の恐れ
- 平成17年3月 1市3町へ合併の町 新長門市誕生
- 平成21年11月 庁舎改築検討委員会設置
- 平成26年11月 庁舎整備検討委員会設置
- 基本構想、策定 <別紙参照>
- 平成27年8月 70坪程度の方式の町 設計業者選定
- 平成28年3月 「基本計画」策定
- 平成28年9月 「基本設計」完成
- 平成29年3月 地域産木材調達・加工計画及び
保管計画と策定
- 平成29年7月 発注方針を公表
- 平成29年9月 実施計画完成
- 平成30年1月 起工式

長門市庁舎建設基本構想

基本理念

市民(みんな)の「安全・安心」の拠点として、利用しやすく、親しみのある庁舎

基本方針 1.

市民の暮らしを守る庁舎

- ・防災機能の確保

基本方針 2.

利用しやすく、親しみのある庁舎

- ・長門市らしさの発信
- ・機能的で効率的な構造と空間
- ・木材利用の促進

基本方針 3.

人びとが活躍する庁舎

- ・ユニバーサルデザインに配慮した庁舎
- ・窓口サービスの充実
- ・市民交流スペースの充実

基本方針 4.

ICT化に対応した庁舎

- ・I.C.T 技術の有効活用

基本方針 5.

環境配慮型庁舎

- ・ランニングコスト削減 環境に配慮した庁舎

長門市らしさを発信し、市民の親しみやすい庁舎とは

① 地域産木材の活用

- ・ 内外装材に加え、構造材を使用できるか。

② 地域への経済波及効果

- ・ 地元で木材の調達から加工まで実施できるか。
- ・ 地元で技術を庁舎建設に活用できるか。

③ 市民の誇りとなる庁舎

- ・ 全国初となる先進的な庁舎建設を目指すこと。
- ・ 木造庁舎建設のモデルプロジェクトとして、全国に発信できるか。

木造庁舎建設を実現するための課題

課題①

- ・ 5,000 m^3 (原木ベース) の木材も工事場で、市内で調達し、製材して調材することが可能か。

木造 + RC造のハイブリット構造を採用することにより、

必要木材量 5000 m^3 \rightarrow 2,300 m^3 に削減 H28~30年度

市有林更新伐、搬出間伐事業から発生する木材で調達可能

課題②

- ・ 構造も木材にすることにより、庁舎機能の制約が生じないか。

木造 + RC造のハイブリット構造に免震構造を組み合わせたことにより、

約 12m の無柱空間が可能。変性のある

フレキシブル (柔軟性、融通のきく) 庁舎を実現

課題③

- 木構造と採用するに比べ、過大な事業とならないうかが、システムビル建築物等先導事業補助金を活用。
- 採択決定額 5.8 億円に比し、一般財源の増加を抑制。

建築計画概要

構造：鉄筋コンクリート造 + 木造（一部鉄骨造）
 （庁舎棟：基礎免震構造）

規模 建築面積 1,962.85㎡（うち新庁舎 1,775.87㎡）
 延べ面積 7,202.26㎡（うち新庁舎 7,054.42㎡）
 階数 地上 5階
 最高高さ 22.996m

建設費 約 35.7 億円 (49.6万円/㎡)
 （庁舎整備基金 10 億円、システムビル建築物等先導事業補助金 5.8 億円、合併特例債を活用。）

事業期間 平成 31 年 3 月末 本庁舎竣工
 平成 32 年 6 月末 全体竣工予定

本市も庁舎整備問題が大きな課題となっており、新庁舎を新築する場合は、文根市町面積の 7 割が森林であり、豊富な森林資源を多用した庁舎建築が求められるかと思っています。

この為、長門市の地域経済波及効果も兼ね、地域産木材を活用した木造 + RC 造のハイブリット構造・免震構造の先導的庁舎建設は、大いに参考にする事例です。



完成予想図

萩市 「旧小学校舎跡地活用事業」について
 ・日時 平成30年11月15日(木) AM:10:45~
 ・御接看



萩市 観光政策部
 萩・明倫学舎推進課



課長 国光 博基

〒758-0041 山口県萩市大字江向 602 番地
 TEL 0838(25)3569
 FAX 0838(21)2017 E-mail 1269@city.hagi.lg.jp



150th ANNIVERSARY 萩市 議会事務局
 HAGI

調査係長 大田 泰之
 Ota Yasuyuki

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 番地
 TEL 0838-25-3144
 FAX 0838-25-3548
 e-mail : 1407@city.hagi.lg.jp
 URL <http://www.city.hagi.lg.jp/>



萩市議会事務局

事務局長 濱村 祥一

〒758-8555
 山口県萩市江向 510
 電話 (0838) 25-3144
 E-mail : 1016@city.hagi.lg.jp



萩. 明倫学舎の概要

明治維新150年記念事業の一環として、全国屈指の規模を誇り、萩藩校明倫館跡地に建つ

日本最大級の本造校舎(昭和10年建築、平成26年3月迄授業実施)を保存改修し、「萩. 明倫学舎(本館及び2号館)」として平成29年3月4日に開館。

萩. 明倫学舎は萩観光の拠点として、又、松下村塾ととも、明治維新の原動力となる萩藩の人材育成を担い、萩藩校明倫館の流れをくみ、萩教育の原点となる学びの場として整備。

本館(国登録有形文化財) 入場無料。

1F. 観光インフォメーションセンター、お土産ショップ、復元校長室、カフェ、レストラン、萩歴史、多目的実習室、多目的復元教室。

2F 萩藩校明倫館屏風室、明倫小学校展示室、天井裏見学室、ジロパークビジターセンター、復元教室、展示映像室。

2号館 入場料 大人300円 高校生200円 小中学生100円

東側、世界遺産ビジターセンター(明治日本の産業革命遺産)の紹介

西側、幕末ミュージアム(幕末維新时期の貴重な史料約600点をテーマ別に展示)

駐車場

普通車 約180台(3/0円/日)

大型バス 10台(1,030円/日)

整備事業費用 (平成26年度 ~ 28年度)

約 14億1000万円

財源内訳

国庫補助金 約 4億1000万円

}	街並み環境整備	約 1億8300万円
	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	約 2億1900万円
	地方創生加速化交付金	約 800万円

地方債 (合併特別債) 約 5億4000万円

基金繰入金 約 4億円

一般財源 約 6000万円

来場者

平成29年3月4日 ~ 平成30年3月31日迄

約33万8000人

管理体制

萩市と NPO 萩明倫学舎との 連携による管理運営

萩市 職員7名、再任用職員1名 地域おこし協力隊員1名
協議会職員 1名 計 10名

NPO 萩明倫学舎 約 20名/日

* NPO 法人 萩明倫学舎 の概要

設立、平成28年12月16日 会員数 85名

活動内容 萩明倫学舎の管理運営の関り事業

萩の歴史文化、自然等の普及啓発事業

旧萩藩校明倫館中旧明倫小学校の事業 案内事業

展示以外の活用

- ・ 主なイベント 祇芝居、松陰先生の朗唱教室、歴史パフォーマンス、お化け屋敷、お芋さんお化けレス大会、旧州倫小時代の写真展
- ・ その他活用状況 各種団体への研修、会議、演奏会、料理教室、復元教室への授業等

管理料 (平成29年度)

歳入 約3200万円 歳出 約9800万円
差額、6600万円を一般財源で補填してゐる

全国屈指の歴史、実績を持つ、廃校の利活用の事例であり、文政市が抱えてゐる、廃校利活用とは、規模・環境が違ふが、然る、廃校と利活用は、地域への活性化を因す目的は同じである。その為、文政市が廃校の利活用に取組むに於ては、地域住民の意向や要望等を念分に留意し、地域住民から愛され、更に、住民や住民組織が管理・運営に関わりを持つ様な方法で利活用を因すことが重要な認識を新たにします。

浜田市「住民参加型市場公募地方債・
浜田きらめき債」の取り組みについて


・日時 平成30年11月16日(金) AM 9:00～

・趣旨

浜田市議会

議長 ^{かわかみ} 川神裕司

〒697-8501 島根県浜田市殿町一番地
電話(0855)25-19800
mail: gicho@city.hamada.lg.jp



世界に羽ばたく浜田の宝
石見神楽「鹿輪」



浜田市財務部財政課

主任主事

^{こ えき きょう こ}
小 驛 杏 子

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
TEL(0855)22-2612代
FAX(0855)23-0210
E-mail: koeki-kyouko@city.hamada.lg.jp



浜田市

住みたい 住んでよかった
魅力いっぱい 元気な浜田

財務部 財政課 財政係

主任主事 ^{はべ} 羽部和哉

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
TEL (0855)25-9210(直通) FAX (0855)23-0210
E-mail: habe-kazuya@city.hamada.shimane.jp



浜田市役所

議会事務局 庶務係

係長 鎌原浩治

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
TEL 0855-25-9800 FAX 0855-22-6765
e-mail: kamahara-kouji@city.hamada.lg.jp

「住民参加型市場公募地方債」とは

住民の行政参加意識の高揚、住民に対する施策のPR、資金調達手法の多様化等を目的に、地方公共団体、地方自治体が債券発行により資金を調達する手法。期間は5年（一般債）利息年2回、同定額新利率に遡及の旧債の金利に準ずる

購入対象者は市内の法人又は在住あるいは勤務している満20歳以上の個人が通常です。

矢張市は現在、庁舎を始めとする公共施設の更新や改築、或いは第2の「道の駅」構想等、地域住民の関心を引く事業が控えています。住民の行政参加意識の醸成も、対象事業に係る住民へのPR、といった観点から公募債導入を前向きに検討する必要性を強く感じ、研修を行っています。（財政指標の改善も図られます。）

「活用をらめ負債」の充当定積

平成 26年度

次世代教育環境整備事業

- ・学校施設の改修整備
- ・社会教育施設等の整備
- ・学校教育備品等の購入

充当金額

43,369千円

平成 26年度

図書館管理運営費

- ・図書館の運営経費
- ・新旧図書購入

50,000千円

平成 27年度

私立保育所保育事業

- ・私立保育所の運営経費
- ・保育料の軽減
(国基準と市基準の差額)

100,000千円

平成 28年度

私立保育所保育事業

内容は平成27年度と同じ

100,000千円

取り組みの成果

平成29年度の定算公債費比率 将来負担比率比
改善が見られ、

定算公債費比率 平成19年度 25.1% → 平成29年度 10.1% (▲15.0%)
 平成19年度 県内8位 → 平成29年度 県内1位